

件名:新型コロナウイルス感染症(31日発表の感染状況)

<ポイント>

- 31日の発表によれば、累計感染者数が143名に達しました。
- カラカス首都圏及びその近郊で、全感染者数のうち、8割近くを占めています。
- 社会的集団隔離実施期間中は、不用意に集団で集まる行為は避けてください。
- ガソリン不足が報じられています。ガソリン供給の動向にも留意してください。
- 感染を拡大させないために、各自予防に努めてください。
- 出国・越州困難となっている在留邦人・旅行者の皆様は、当館までご一報ください。

<本文>

1 3月31日、ベネズエラ・ボリバル共和国マドゥーロ大統領は、全国テレビ放送等を通じ、新たな感染者について発表しました。感染者総数は以下のとおりです。

- ・累計症例数:143名
- ・累計死亡者数:3名
- ・累計治癒数:41名

2 総数のうち、ミランダ州が57名、カラカス首都区(リベルタドル市)が26名、アラグア州が18名、バルガス州が10名と(出典:国連)、カラカス首都圏及びその近郊で、全感染者数のうち、8割近くを占めています。

カラカス首都圏及び近郊にお住まいの方におかれましては、予防に十分ご注意ください。

3 報道によれば、ミランダ州チャカオ市で、社会的集団隔離実施期間中にもかかわらず、パーティを開催していたとして、18名が逮捕されています。社会的集団隔離では、混雑を避けるための活動制限が設けられています。真に必要な外出以外は行わず、自宅に待機することが求められています。不用意に集団で集まる行為は避けてください。

4 報道によれば、ベネズエラ全土でガソリン供給が不足し、各地でガソリンスタンドが休業したり、長い行列が起こっています。今後、ガソリン供給が一層困難になると、物流にも影響を及ぼし、物資の供給にも影響を与えるおそれがあります。ガソリン供給の動向にも留意してください。

5 既に感染者数が増加した各国のように、感染者数が爆発的に増加し、医療体制が追いつかない事態も起こりえますので、予防が非常に重要です。以下のような予防に努めてください。ベネズエラでは、断水も頻繁に発生していますので、アルコール消毒やうがい薬による代替手段の確保等も重要です。新型コロナウイルスの感染・疑い

がある旨診断された場合は、当館まで御一報願います。

- ・手洗い・うがいの励行
- ・マスクや手袋の着用
- ・換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避ける

6 現在、ベネズエラ・ボリバル共和国政府が実施している社会的集団隔離により、ほぼ全ての国内・国際線が運航停止している他、州や市をまたいだ車両の通行が制限されています。在留邦人・旅行者の皆様におかれましては、出国や越州が困難になっている等の問題に直面されている場合は、当館までご一報ください。

参考：日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限

[https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory\\_world.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html)

参考：外務省海外安全 HP

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

参考：当館 HP 新型コロナウイルス関連情報

[https://www.ve.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ve.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

参考：ベネズエラ・ボリバル共和国政府保健省新型コロナウイルス関連サイト

<http://www.mpps.gob.ve/index.php>

参考：厚生労働省ホームページ(新型コロナウイルス感染症について)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

このメールは、在留届及び「旅レジ」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。

【問い合わせ先】

在ベネズエラ日本国大使館

電話：(+58)-212-262-3435

FAX：(+58)-212-262-3484

ホームページ：<http://www.ve.emb-japan.go.jp/>